

研究結果報告書

日本の職人文化の伝承における人とモノとの関係性についての研究

所属：南京航空航天大学 外国語学院 日本語学部

役職：副教授

氏名：周 菲菲

2020年1月から一気に世の中に猛威を振るった新型コロナウイルス感染拡大を受けつつも、本プロジェクトの実施にあたる文献調査及びフィールドワークは一定程度にできたうえ、オンライン調査においても多くのデータを手に入れられた。研究の期間はだいぶ伸びたものの、計画を上回る論文や学会発表の成果を収められたと思う。

本研究は、江戸時代に洗練され、現代にいたるまでの日本の職人文化を人とモノとの関係性を糸口として分析しようとする。主に次の三つの点をめぐって展開されている。

一、伝統工芸の「手作り」における人とモノとの関係性

東京の江戸硝子や和紙づくりの工房において、暗黙知を含めた手作り習得及び手作り体験教室の現状に関して参与観察及び聞き取り調査を行い、人とモノとの関係性に見られる変化と創造のプロセスを分析した。また、暗黙知である技術の伝承を支える職人ことば、そして手道具の伝承をめぐるインタビュー及び文献調査を行った。

二、道具供養に見られる人とモノとの関係性

東京と京都におけるどんど焼き・道具供養行事及び供養碑について、参与観察と聞き取り調査といった作業を行い、職人文化における人とモノとの重層的な関係性を考察してみた。

三、「職人氣質」の近代化及びそれをめぐる消費

歴史をたどり、家職を重視する「職人氣質」は近代の労働倫理に及び経営方式に変わる経緯を分析した。これによって、中国の製造業及び無形文化遺産の伝承事業に参考となる点を抽出した。この研究に当たって東京と千葉で資料収集をしたうえ、中国にしながら研究協力者に資料を郵送してもらったりした。

さらに、インターネットの普及によって大きく変容する中国人観光者におけるオンライン・オフラインの多様な消費実践に関して、参与観察や聞き取り調査、オンライン調査を行うことによって「ブラックボックス」として閉じられる「匠の精神」を詳細に把握した。

これからは以上の研究成果を生かし、生きた職人技の伝承及び伝播のメカニズムがいかに地域振興及び国民意識の向上につながるのかを検証したいと思う。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

1. 日本の職人社会にみられる陽明学の影響、周菲菲、中国国際陽明学フォーラム、2019年10月19日、中国・贛州市
2. 「匠の精神」を消費する一訪日中国人観光者の「遊学」ツアーと伝統の再創造(査読付)、周菲菲、日本文化人類学会第54回研究大会、2020年5月31日、オンライン開催

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

1. 日本における「職人氣質」の伝承とその現代の価値をめぐり一考察(日本的工匠精神传承及其当代价值)(中国語)、周菲菲、日本学刊(2019年第6期)(中国社会科学院日本所編集、中国社会科学引文索引CSSCIデータベース選定学術誌)
2. 近代工業に向けた日本の伝統的な職人の変容(日本传统工匠向现代工业的转型)(中国語)、周菲菲、文化縦横(2019年第5期)、(CSSCIデータベース選定学術誌)
3. 暗黙知と日本の技術伝承(隐性知识与日本技术传承)(中国語)、周菲菲、科学技術哲学研究(2020年第2期)(CSSCIデータベース選定学術誌)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

該当なし。